

人口構造の変化

中国は1999年に高齢化社会へ突入し、2018年までの19年間で高齢者人口は1億1800万人増加しました。総人口に占める60歳以上の高齢者の割合は99年末時点では10分の1でしたが、18年末には6分の1を上回っています。17年と比較すると60歳以上人口は859万人(0.6%)増加し、総人口の17.9%を占める2億4900万人を超となりました。

中国ではこの頃を第一高高齢者人口増加ピークとし、そして第二次高齢者人口増加ピークを迎える22年以降は毎年1100万人ペースで増加するとされています。

「第13次五カ年計画(2016-2020年)」の末時点では、60歳以上の高齢者は約2億5500万人に達し、高齢者扶養率は約28%に達する見通しです。

サービスの需要は質量共に上昇傾向にあり、市場規模は18年で6.2兆円でしたが2024年には11.2兆元に達する見込みです。2010年から24年までの年平均成長率は16%と急成長していることが分かります。

一方、GDPに占めるシニア産業の割合は、先進国が20%以上であるのに対し、中国はわずか7%であり、業界全体が発展途上の段階にありま

シニア産業は発展途上

す。ちなみに中国の高齢者人口は、35年頃には総人口の4分の1を、50年頃には3分の1を上回ると推計されています。

中国で最初に戸籍が作られた前漢末期の西暦2年頃の人口は5959万4978人でした。その後しばらく1億人を超えることはありませんでしたが、清王朝時代に爆発的に人口が増加しました。1840年には4億人に、中華人民共和国が誕生した1949年には5億4000万人に達し、その後70年間でさらに8

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

億人以上増加しました。その後、人口増加を抑制するための「一人っ子政策」によって、少子高齢化社会が顕著となりました。

(出所・東方新報、上海統計局中商産業研究院整理、imedia、21世紀網、上海綜合为老服务平台)